



# 学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒

(徳) 正しく判断できる生徒

(体) 心身を鍛える生徒

<No. 10> 令和6年1月9日

## さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡2-18-13

TEL 048-861-3203 (学校)

866-5789 (相談室)

<https://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>

## 前へ ～新しい一歩～

校長 渡邊 哲哉

新年明けましておめでとうございます。

また、能登半島地震にて被害にあわれたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。

本来であれば、新年の希望等紹介するところですが、本年は年明け早々大きな出来事があり、今回は控え、来月以降にお伝えできればと思います。

今回の震災や事故でも多くの方がお亡くなりになり、けがをするなどたいへんな被害がありました。関係の方々におかれましては辛い思いをなさり、お力落としのことで存じます。まだ地震が終息したわけではありませんが、早くこれまでのような日常を取り戻すことができるようお祈りいたします。半面、これまでの経験を活かし、災害等への準備と冷静な対応がされたとの報道が目立ったように感じます。それにより、多くの方の命が救われたと思いました。地震直後の避難を呼びかける放送では、命を守る行動への緊張感が伝わっていました。また、飛行機事故では、飛行機出発の際の必ず行う確認事項が的確に指示されている様子が報道されていました。

私たちは常に様々な「万が一」に備えています。学校でも地震や火災を想定した「避難訓練(防災対応訓練)」を実施しています。地域の方のお力をお借りして「避難所開設訓練」「避難所運営訓練」等も学ばせていただいています。他にも、校外学習等でもトラブルに備えた確認をします。その訓練の際に最も大切なことは、「実際に想定した真剣な訓練」を実施し参加することです。やらされる訓練ではなく、課題を探し、解決しながら積極的に参加することです。それは、学習や部活動などほかの場面に応用することができます。天災や事故などは、あってほしくないことです。しかし、それらから目を背けるのではなく、しっかりと見つめ、自分のこととして捉え対応できるように準備するようになりたいと考えます。

一年の中には何度か区切りがあり、私たちはその度にそれまでの行動を振り返り、これからに希望をもって「新鮮な気持ち」で生活をしていきます。その中でも大きな一つの区切りが、この新年を迎える1月だと思います。新しい年、みなさんは4月からの新年度前0学期をどのように迎えましたか？昨年までの成果や反省を生かして、これからなりたい自分へのチャレンジをしてみてください。すぐに結果の出ることであれば、次のステップへ、結果が出るまでに時間のかかることでも、投げ出さずしっかり取り組んでください。どちらにしても「新鮮な気持ち」が大切だと思います。

「今日も頑張ろう！」という新鮮な気持ちをもつために、私は元気よくあいさつすることを心掛けています。元気なあいさつをすると何故か心が前向きになります。ぜひみなさんも元気なあいさつで常にリフレッシュして前向きな一日を積み重ねてみてください。

地域のみなさま、保護者のみなさま、本年も白幡中学校では、子どもたちの良い面をよく見て、その上でステップアップを図り、子どもとともにチャレンジしてまいります。良い面は褒め、失敗した時には、そこから前を向くことができるように指導してまいります。お気づきの点がございましたら、ご遠慮なくお声掛けいただけましたら幸いです。本年も白幡中学校の教育活動に、ご理解ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

